

座談会に出席されるNPO関係者の方々の活動概要について

①井上 英之 氏

社会にイノベーションを巻き起こし、まさに世の中を変える上では若い世代の自由な発想をコミュニティとして育てることが不可欠であるとの信条の下に、起業家精神に富んだ若いリーダーの育成に自ら陣頭指揮を取られるとともに、革新的な事業型NPOやソーシャル・ベンチャーに対して積極的に投資を行うことで、新たな社会の課題をビジネスの視点から解決しようとする仕組みづくりを先導されておられます。

②富永 一夫 氏

「地域の底力は、自由に自立した人々の楽しい活動なしには産まれない」をモットーに、住民、企業、自然そして行政との間に緩やかなネットワークを築くことで、地域がどうなれば誰もが楽しく生活できる場となるかを「地域を支える者全員で」考えるための架け橋として全国的に活躍されております。また、その傍ら、多摩ニュータウンの南西部に位置する長池公園を、八王子市から指定された指定管理者として管理されてもおられます。

③藤村 望洋 氏

商店街の空き店舗にゲーム付き空き缶回収機を設置し、空き缶回収に協力したお客様にも利益が還元されるような形で空き缶回収を促すなど、お客様と商店街とが共に自発的にリサイクル活動に貢献できるような仕組みをビジネスモデルとして編み出し、商店街が中心となって行う地域のリサイクル拠点づくりを全国に広めて、全国的な商店街ネットワークを構築されました。また、環境・リサイクルをきっかけに、地域の地震対策やバリアフリーやコミュニティ再構築など商店街のまちづくりを推進して、全国ネットワークで、地域資源の商品化と流通ルート構築を行い、地域活性化を推進されております。

④山口 ひろこ 氏

20代後半、実家の眼鏡卸業に関わり、当時の九州の眼鏡小売業界全体の売上低迷に活路を見出すために取り組んだ商品や商品企画の見直しにおいて、最初、商品にしか目がいてなかったところ、その商品を取り巻く環境としてのディスプレイや店舗内装の色やデザイン、ひいてはそこに接客する人の服装や動きまで関連していく環境そのものを見直した方が商品が生き返り、また人も光り輝かせることができるということを何度も実感されたご経験を踏まえ、環境デザインがまさに「人が楽しく暮らせる環境づくり」に繋がるのではないかとこの視点から、まちづくりにおける斬新な環境色彩計画や空間デザインを提言されておられます。